

Fig. 2. Digging place of the tuff in "Ichūno-tsukakidani," Ohara, Kōga of Shiga.

Fig. 3. The natural weathering of the tuff in "Kami-Kesamaru," Ohara, Kōga of Shiga.

Fig. 4. The fossils dugged out in the digging place of the tuff in "Konan region" of Shiga.

Fig. 5. The typical pile-soil made up as the material the weathered tuff of "Konan" region of Shiga.

圖の說明

第一圖 滋賀縣甲南地方圖。

第二圖 滋賀縣甲賀郡大原村「樺野」椋谷一に於ける凝灰岩採掘場。

第三圖 滋賀縣甲賀郡大原村「神一今朝丸」に於ける凝灰岩の自然的風化。

第四圖 滋賀縣甲南地方凝灰岩採掘場に於ける顯出化石。

第五圖 滋賀縣甲南地方の風化凝灰岩を材料として調製したる模範的堆土。

理論的最適労働時間に就て

鳥取高等農業學校教授 田中作治郎

近年労働問題に於て一日八時間労働が良いと云ふ様に云はれて、今迄十二時間労働若しくは十時間労働をして居つたのを軽減して、八時間労働として却つて能率を得る事が實證せられ、國際労働會議に於ても八時間労働と云ふ事が高唱

理論的最適労働時間に就て

されて居るが、その八時間労働云ふ事は果して確實なる科學的に根據があるか云へば充分確實でない様に思ふ。依つて之れを確かめたいと思つて大正二年以來研究し、大正十年より同十三年迄四ヶ年間試験的實驗をしたのであるが未だ結論には達しない。併し之れを明かにする鍵は主として「マシエック」(Maschke)氏の畜力方程式を證明するか、萬一否定さるゝならば之れに代るべき方程式を決定する事であると思ふ。之れが決定せらるればその式より理論的最適労働時間が算出せらるゝと思ふ。故に甚だ有益なる研究であるを考へ目下その研究を進めつゝあるものである。

稻の水中培養に於ける窒素源としての

アムモニヤ及硝酸鹽の營養價値に就て

九州大學農學部植物學教室 深 城 貞 義

一、緒 言

植物はアムモニヤ及硝酸鹽の何れから窒素を攝取し、同化し易きかは純植物生理學の見地からは甚だ興味ある問題であつて、應用上に於ても亦特に注目すべき重大問題である事は今更喋々を要しない所である。故に前世紀の半ば以來多數の學者が此問題解決の爲に努力し、漸次解決の域に近づきつゝある様である。

で、稻に就ても可なり研究されてゐるのであるが、羅氏(1927, 1928年)の幼苗期に於ける實驗以外の此種の實驗では、吾等又更に餘り考査を拂はれてゐない様である。故に著者は培養液の反應に特に考慮を拂つて 換言せば硝酸